

大阪大学と連携し、  
フューチャー・デザインを活用した  
意見交換会

(令和4年7月～令和5年2月)

# 概要説明

大阪大学の原教授らと連携し、将来世代の視点を踏まえ、2050年のカーボンニュートラルに関する施策を多角的に検討することを目的に環境政策室の職員（5名×3班）が令和4年7月から令和5年2月まで、意見交換会を実施しました。

# スケジュール

1	既存計画・施策の評価、CNに関する情報提供、2050年の吹田のCN社会の状況を描写
2	現世代 ①の続き、2050年の社会の定義
3	現世代 2030年までの施策の抽出と優先順位化
4	現世代 政策評価枠組提案（※実際の時の制約を議論する）→施策の優先順位化
5	過去分析
6	FDの説明、2050年世代として2050年の吹田のCN社会の状況を描写
7	将来世代 ⑥の続き、2050年社会の定義
8	将来世代 2030年までの施策の抽出と優先順位化
9	将来世代 政策評価枠組提案→施策の優先順位化
10	現世代と将来世代の議論結果の比較
11	報告会